

[アンケート発表のまとめ]と“施策づくり”に向けて【手直し版】

《はじめに》

前回の検討委員会で、会議時間が少なくなり話し合いができなかった「資料2」について、今回は話し合っていきたいと思います。

前回もお話ししましたが、今年の2月に行われた令和4年度第3回検討委員会では、皆さんから生活の場面で「困ったこと」や「気になったこと」について発表をしてもらいました。

発表された内容というのは、障がいのある人への支援方法や、どんなことに気づけば良いのか、ということにつながり、さらには施策の推進方針づくりのヒントになるのではないかと事務局では考えました。

また、皆さんが発表した内容を事務局で整理し、**大きく4つのタイトルに分けて**みたので、そこに書かれた困りごとへの解決方法や、新たに思いついた困りごとと、その解決方法などを発表してもらいたいと思います。

《事務局で考えた「4つのタイトル」について》

- ① 障がいをなかなか理解されない
- ② 相手にうまく気持ち伝わらない
- ③ 外出先やお店などで困ったことがある
- ④ 障がいのある人にとって生活がしづらい環境である

※上のようなタイトルに分けましたが、ほかの分け方などがあれば発表してもらえればと思います。

◆タイトル《①障がいになかなか理解されない》

〈注意〉

下に書かれている発表内容は、発表された内容をそのまま書かずに、同じような内容を一つにまとめたり、文を短くして書いています。

【①のタイトルに関係があると考えられるアンケートの発表内容】

- 障がい者と知られた時に差別されるような気がする。
- 障がいは特別なことではなく、誰もがなるかもしれないことだとこのことを理解され、障がいの方が地域にいたることが当たり前となるようになればと思う。
- 障がい理解のための啓発や、わかりやすい市民向けのガイドブックがあったら良いと思う。
- (知的に障がいのある方)本人の思う方向に進めないといらいらいしてしまい、大声を出して周りから見られてしまうことがある。
- 言われたことを理解するのが難しく、納得するまで時間がかかる。
- 言いたいことがあってもなかなか話せない性格なので、ゆっくり話を聞いてほしいと思う。
- (視覚に障がいのある方)相手がいなくなってもわからないで、一人で話していることがある。また、自分の周囲の物は自分で決めて置いているので移動しないでほしい。



《困りごとを解決していくために、どんなことをしたらいいでしょう?》

★例⇒ みんなが障がいのある人の気持ちを知ってくれるといい。

◆タイトル《②相手にうまく気持ちが伝わらない》

〈注意〉

下に書かれている発表内容は、発表された内容をそのまま書かずに、同じような内容を一つにまとめたり、文を短くして書いています。

【②のタイトルに関係があると考えられるアンケートの発表内容】

- ・話したことを理解してもらえないことや、うまく相手に伝わらない時があった。
- ・友達と話していて思うように伝わらず、少しトラブルになった。
- ・言いたいことをうまく伝えられるようになったらいいなと思う。
- ・困ったことを伝えたくても単語でしか話せず、うまく伝えられないことがあったので、文字やイラスト、写真などを使ってコミュニケーションが取ればいいなと思う。
- ・（聴覚に障がいのある方）言葉で話すことができないので、なかなか思いが伝わらないことが多い。また、マスクをしていて口の動きが見えず、話を読み取れないことがある。



《困りごとを解決していくために、どんなことをしたらいいでしょう？》

★例⇒ お話をするとき近くに助けしてくれる人がいるといい。

◆タイトル 《③外出先やお店などで困ったことがある》

〈注意〉

下に書かれている発表内容は、発表された内容をそのまま書かずに、同じような内容を一つにまとめたり、文を短くして書いています。

【③のタイトルに関係があると考えられるアンケートの発表内容】

- 外出先やレジで周りに迷惑をかけていないか気になってしまう。
- お金を払う前に、最初から1,000円が何枚、100円が何枚必要かが値札などでわかると買い物がしやすいと思う。
- トイレの表示がわかりにくく、どの扉を開けたら良いか困った。
- 飲食店などで、お店のメニュー表に写真があればわかりやすいと思う。
- お店で車いすの人が棚の物を取りづらそうだった。また、トイレの入り口がせまくて入りづらそうだった。
- 冬場の身体障害者用駐車場は立て看板などが無くてわかりにくい。また、健常者が身障者用駐車場に停めないようにしてもらいたい。
- 駐車場に雪が積もっていて、車いすでお店まで入れない。
- (聴覚に障がいのある方)店内放送が流れてもわからないことや、気づいても内容がわからず戸惑ってしまう。
- (視覚に障がいのある方)トイレや乗り物など移動が大変で一人では外出できない。また、建物の外に出ると方向がわからなくなる。



《困りごとを解決していくために、どんなことをしたらいいでしょう?》

★例)⇒ 障がいのある人にもわかりやすい表示をしてくれるお店が増えるといい。

◆**タイトル《④障がいのある人にとって生活がしづらい環境である》**

〈注意〉

下に書かれている発表内容は、発表された内容をそのまま書かずに、同じような内容を一つにまとめたり、文を短くして書いています。

【④のタイトルに関係があると考えられるアンケートの発表内容】

- ・声に出して言えない、言いづらい、伝え方がわからないなど、これに代わるもの（文字、イラスト、写真、スマホアプリ）がすぐ利用できる環境になればいいなと思う。
- ・コミュニケーション手段として、これからはICT（情報通信技術）を活用していくことが必要だと思う。
- ・防災情報や災害時の対応について、各障がい向けにわかるものがあるといいなと思う。各障がいに配慮した避難方法や避難環境について、地域町内会などで理解されるような啓発も必要だと思う。
- ・点字ブロックのひき方を考えてほしい。また、点字ブロックの目的などについても知ってもらいたい。



《困りごとを解決していくために、どんなことをしたらいいでしょう？》

★例⇒ 障がいのある人にとって情報を受け取りやすい環境が増えるといい。

◆^{ほか}その他の^{いけん}意見などについて

〈^だ出された^{いけん}意見など、^{じゆう}自由に^か書いてください。〉